

岡山県感染症週報 2015 年 第 3 週 (1 月 12 日～1 月 18 日)

岡山県は『インフルエンザ警報』発令中です

◆2015 年 第 3 週 (1/12～1/18) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

- 第 2 週 2 類感染症 結核 2 名 (60 代 女 1 名、80 代 女 1 名)
 4 類感染症 レジオネラ症 1 名 (40 代 男)
 5 類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 名 (70 代 女)
 侵袭性肺炎球菌感染症 2 名 (40 代 男 1 名、60 代 男 1 名)
 第 3 週 2 類感染症 結核 3 名 (40 代 女 1 名、70 代 男 1 名・女 1 名)
 3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 名 (O157: 30 代 男)
 5 類感染症 ウイルス性肝炎 1 名 (40 代 男)

■定点把握感染症発生状況

- インフルエンザは、県全体で 4974 名 (定点あたり 42.99 → 59.21 人) の報告があり、前週より大きく増加しました。
 ○感染性胃腸炎は、県全体で 453 名 (定点あたり 8.39 → 8.39 人) の報告があり、前週と同数でした。

【第 4 週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 221 施設でありました。(1 月 19 日～21 日)

- インフルエンザ**は、県全体で 4974 名 (定点あたり 42.99 → 59.21 人) の報告があり、前週より大きく増加しました。定点あたり報告数は、過去 10 年間でもっとも多い状態になっています。岡山県は、1 月 15 日『インフルエンザ警報』を発令し、広く注意を呼びかけています。地域別では、倉敷市 (100.69 人)、岡山市 (56.05 人)、真庭地域 (53.00 人) の順で定点あたり報告数が多くなっており、全ての地域で大きく増加しました。県内の発生状況など詳しくは、「[インフルエンザ週報](#)」及び岡山県感染症情報センターホームページ『[2014/2015 年シーズン インフルエンザ情報](#)』をご覧ください。
- 感染性胃腸炎**は、県全体で 453 名 (定点あたり 8.39 → 8.39 人) の報告があり、前週と同数でした。12 月をピークに報告数は減少し、第 1 週 (12/29～1/4) から横ばい傾向にあります。依然として多くの患者が報告されています。地域別では、美作地域 (14.33 人)、倉敷市 (9.09 人)、備前地域 (8.50 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。ひきつづき手洗いの徹底や下痢便・嘔吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。県内の発生状況など、詳しくは「[感染性胃腸炎週報](#)」および岡山県感染症情報センターホームページ『[2014/2015 年 感染性胃腸炎情報](#)』をご覧ください。
- 腸管出血性大腸菌感染症**は、第 3 週に 1 名の報告があり、今年初めての発生報告となりました。この感染症は、夏から秋にかけて患者が多く発生しますが、一年を通して患者の発生報告がみられます。食肉の生食は避ける、肉の中心部まで火を通すなど、通常の食中毒対策を励行し、感染予防に努めましょう。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	▲	★★★★★	RSウイルス感染症	▼	★
咽頭結膜熱	▲	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	▲	★★
感染性胃腸炎	▶	★★★	水痘	▼	★
手足口病	▲	★	伝染性紅斑	▲	★
突発性発疹	▲	★	百日咳	▲	★
ヘルパンギーナ	▶		流行性耳下腺炎	▶	★
急性出血性結膜炎	▶	★	流行性角結膜炎	▼	★
細菌性髄膜炎	▶		無菌性髄膜炎	▶	
マイコプラズマ肺炎	▶		クラミジア肺炎	▶	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	▶	* 感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、2013 年第 42 週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。			

【記号の説明】 ・ 前週からの推移 : 2 倍以上の減少 ▼ : 1.1～2 倍未満の減少 ▲ : 1.1 未満の増減 ▶

: 1.1～2 倍未満の増加 ▲ : 2 倍以上の増加 ▲

・ 発生状況 : 今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。

空白:発生なし ★: 僅か ★★: 少し ★★★: やや多い ★★★★: 多い ★★★★★: 非常に多い

インフルエンザ週報 2015 年 第 3 週 (1 月 12 日 ~ 1 月 18 日)

岡山県は『インフルエンザ警報』発令中です

➤ 岡山県の流行状況

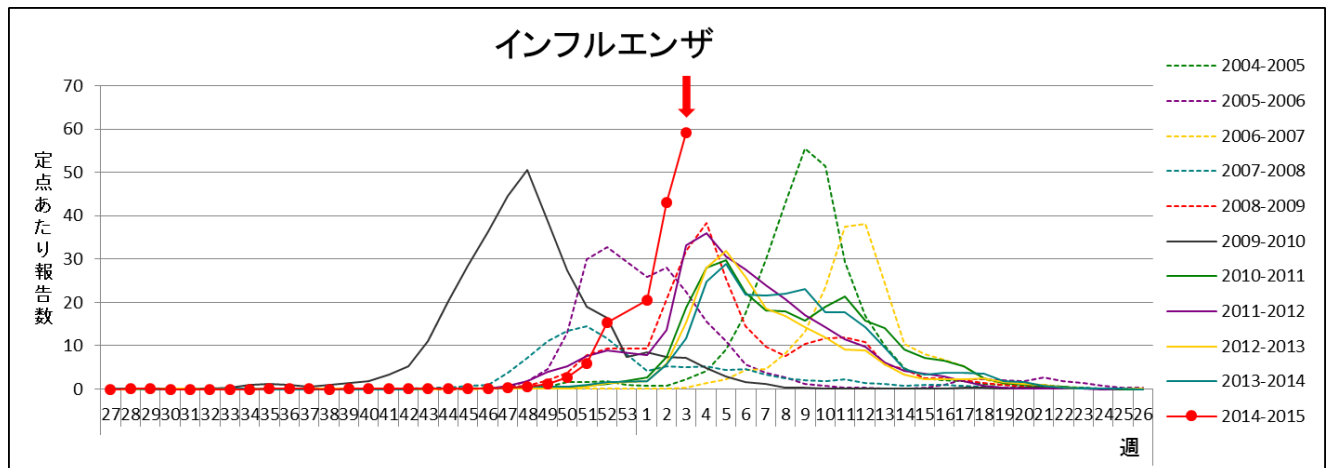
○インフルエンザは、県全体で 4974 名（定点あたり 42.99 → 59.21 人）の報告があり、前週より大きく増加しました。

○インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業は 138 施設でありました。

○インフルエンザによる入院患者 15 名の報告がありました。

【第 4 週 速報】

○インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 221 施設でありました（1 月 19 日～21 日）。



インフルエンザは、県全体で 4974 名（定点あたり 42.99 → 59.21 人）の報告があり、前週より大きく増加しました（84 定点医療機関報告）。定点あたり報告数は、2 週連続で大きく増加しており、過去 10 年間でもっとも多い状態になっています。岡山県は、1 月 15 日『インフルエンザ警報』を発令し、広く注意を呼びかけています。

地域別では、倉敷市（100.69 人）、岡山市（56.05 人）、真庭地域（53.00 人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、全ての地域で大きく増加しました。発生レベル 3 の地域は、新たに備北地域が加わり、全地域となりました。

新学期の始まりとともに、学校等の臨時休業の報告は前週（2 施設）より大きく増加し、第 3 週は 138 施設から報告がありました。また、第 4 週（1/19～）も多数報告されていることから、幼稚園・小学校・中学校などで集団生活をしている年齢層での感染拡大が懸念されます。『外出後や食事前の手洗いを徹底する』『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する』『十分な睡眠を取る』など、さらなる感染予防に努めてください。また症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。

◆インフルエンザは流行期に入っています。
さらなる感染予防に努めましょう。

【 予 防 】

- * 外出後は手洗いをしましょう。
- * 人混みでは、マスクを着用しましょう。
- * 十分な睡眠をとり、バランスの良い食事を心がけて、抵抗力をつけましょう。
- * 室内では加湿器を使うなど、適度な湿度(50～60%)を保ちましょう。

【 かかったかな？という時には 】

- * 早めに医療機関を受診しましょう。
- * 周りの人にうつさないように、「咳エチケット」を心がけましょう。
- * 水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。

1. 地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	4974	▲	備 中	患者数	618	▲
	定点あたり	59.21			定点あたり	51.50	
岡山市	患者数	1233	▲	備 北	患者数	201	▲
	定点あたり	56.05			定点あたり	33.50	
倉敷市	患者数	1611	▲	真 庭	患者数	159	▲
	定点あたり	100.69			定点あたり	53.00	
備 前	患者数	686	▲	美 作	患者数	466	▲
	定点あたり	45.73			定点あたり	46.60	

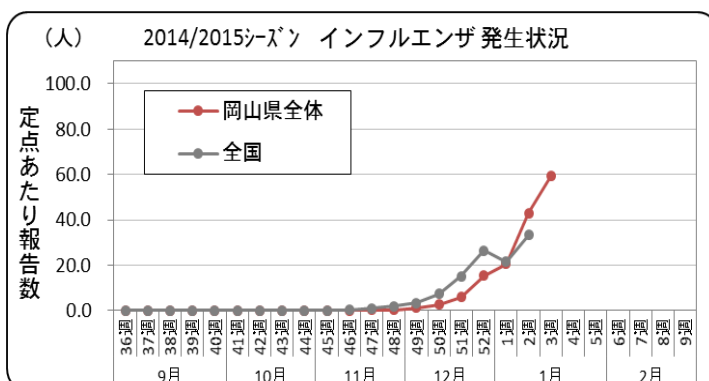
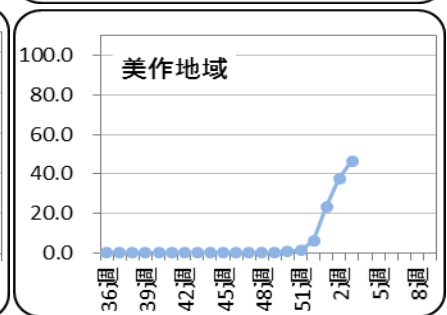
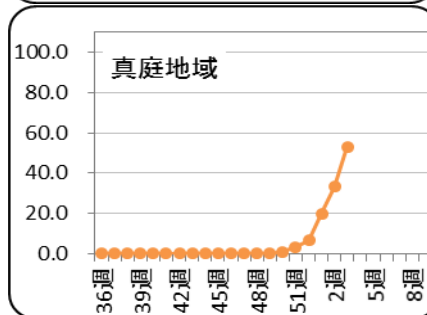
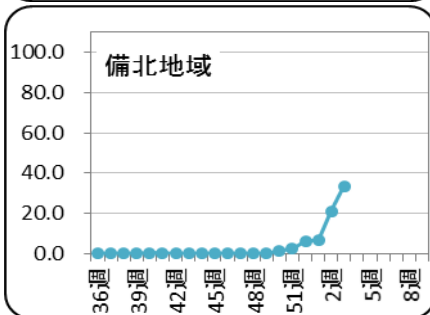
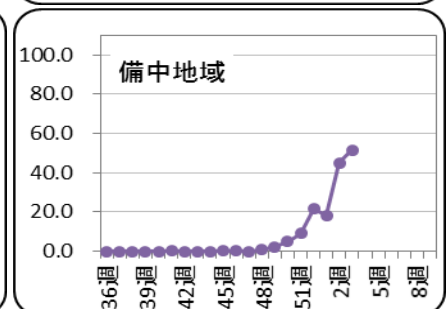
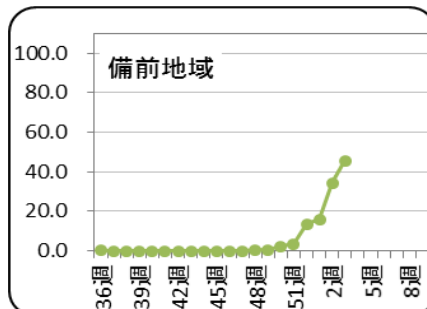
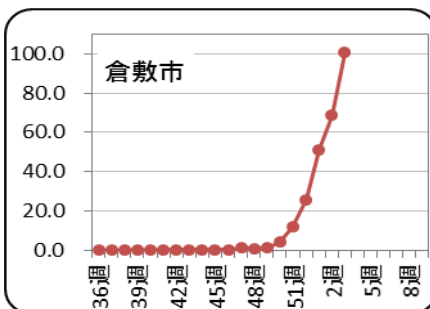
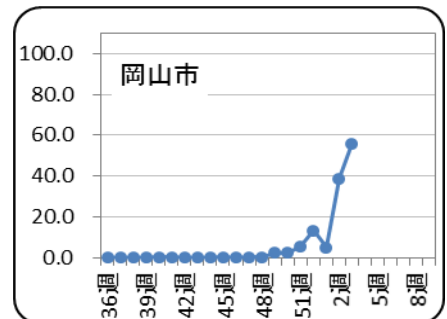
【記号の説明】 前週からの推移： 2倍以上の減少 ↓ 1.1～2倍未満の減少 ↘ 1.1未満の増減 →
1.1～2倍未満の増加 ▲ 2倍以上の増加 ↑

インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

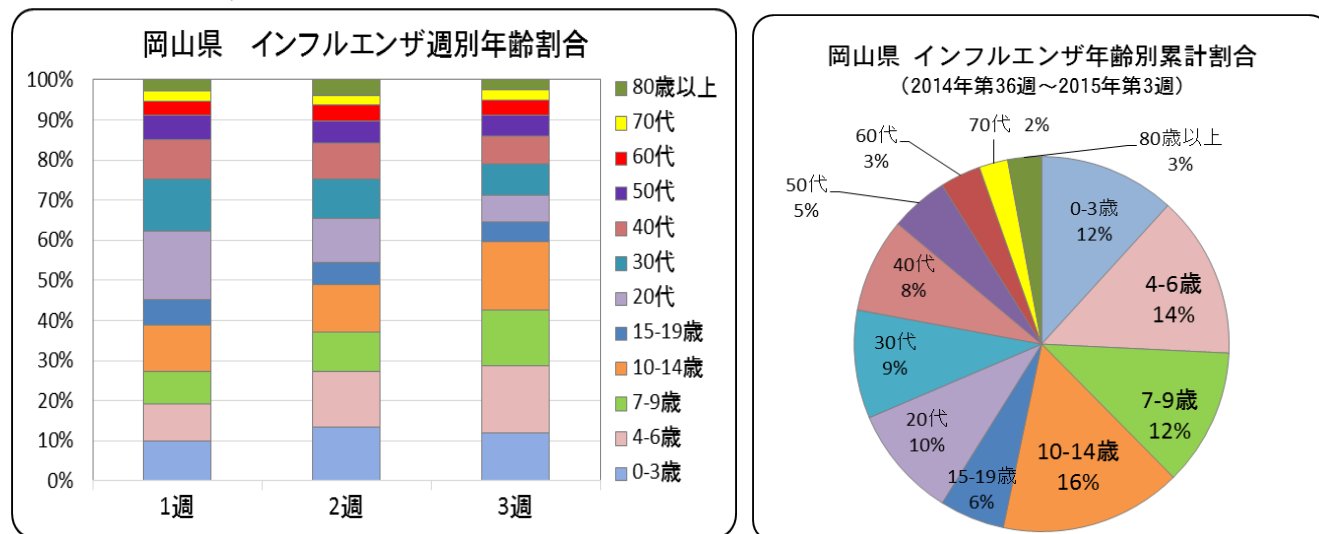
レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10以上 30未満
レベル1		報告なし
基準値		基準値
0< 10未満		0



全国集計第2週（1/5～1/11）によると、全国の定点あたり報告数は33.28人であり、前週（21.46人）よりも増加しました。都道府県別では、宮崎県（76.42人）、沖縄県（62.98人）、熊本県（57.23人）の順で定点あたり報告数が多くなりました。42都府県で前週の報告数よりも増加がみられましたが、5道県では減少がみられました。

2. 年齢別発生状況

新学期の始まりとともに、幼稚園・小学校・中学校などで集団生活をしている年齢層の割合が増加しています。今シーズン（2014年9月1日～）年齢別累計割合は、10-14歳 16%、4-6歳 14%、0-3歳及び7-9歳 12%の順で報告数が多くなっています。



3. インフルエンザウイルス検出状況

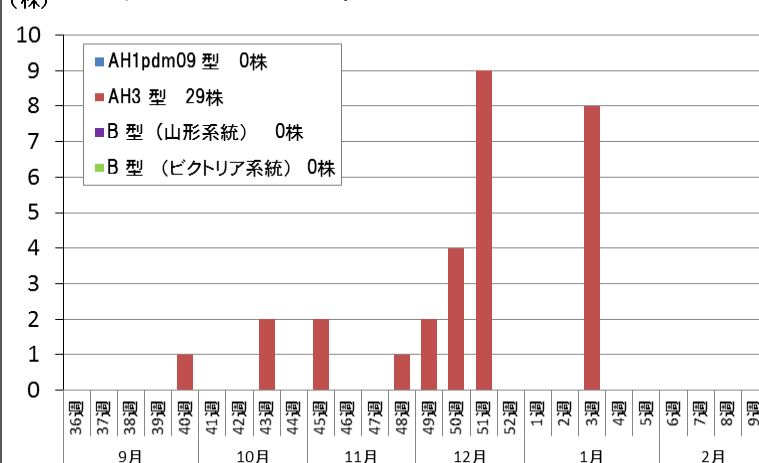
第3週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは、8株でした。

今シーズンこれまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が29株（100%）となっています。

全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型 1578株（96.5%）、B型 38株（2.3%）、AH1pdm09型 14株（0.9%）、A型亜型不明 4株（0.2%）、C型 1株（0.1%）でした。（2015年1月22日現在）

[（インフルエンザウイルス分離・検出速報
（国立感染症研究所））](#)

2014/15年シーズン 岡山県 インフルエンザウイルス週別検出状況



【第3週判明分】

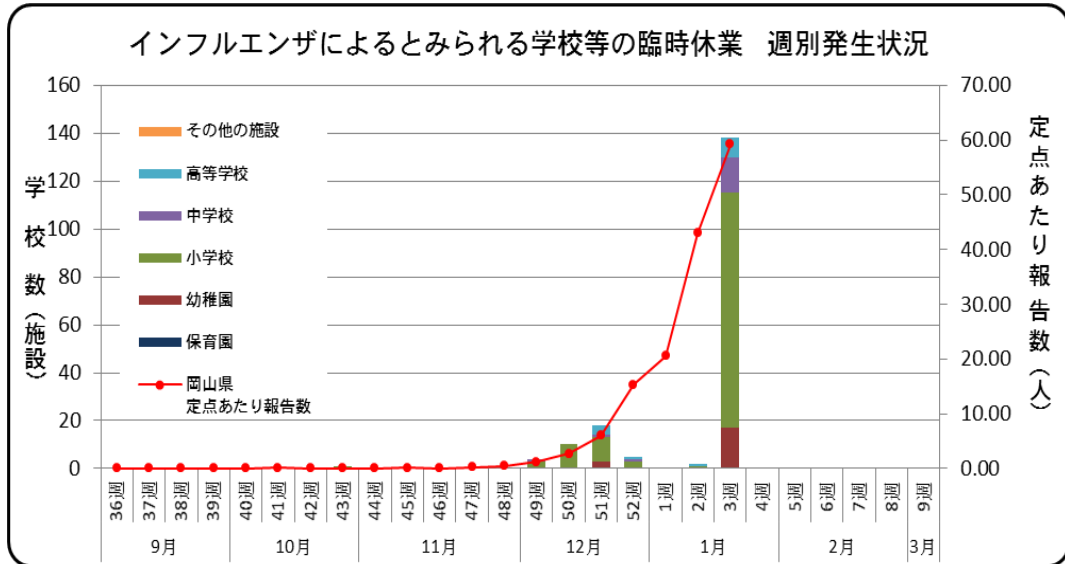
ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第3週(1/12～1/18)	2015/1/14	備北	90代	男
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第3週(1/12～1/18)	2015/1/14	備北	90代	男
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第3週(1/12～1/18)	2015/1/14	備北	90代	女
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第3週(1/12～1/18)	2015/1/14	備北	90代	男
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第3週(1/12～1/18)	2015/1/13	備前	中学生	男
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第3週(1/12～1/18)	2015/1/13	備前	中学生	男
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第3週(1/12～1/18)	2015/1/13	備前	中学生	男
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第3週(1/12～1/18)	2015/1/13	備前	中学生	女

4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 138 施設でありました。

【第3週 臨時休業施設数】

▽岡山市 61 ▽倉敷市 26 ▽津山市 16 ▽矢掛町 5 ▽玉野市 4 ▽井原市 4 ▽勝央町 4
▽真庭市 3 ▽瀬戸内市 2 ▽赤磐市 2 ▽浅口市 2 ▽笠岡市 2 ▽総社市 1 ▽新見市 1
▽和気町 1 ▽早島町 1 ▽里庄町 1 ▽美咲町 1 ▽吉備中央町 1



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	2241	2937	1816	2345	138	178	3	4	40	51	95	123	H26.10.21
岡山市	1149	1353	898	1054	61	72	—	—	11	13	50	59	H26.12.1
倉敷市	412	643	356	538	26	36	0	1	7	9	19	26	H26.10.21
備前地域	89	137	80	114	10	13	—	—	3	5	7	8	H26.12.9
備中地域	193	386	160	305	16	30	1	1	11	14	4	15	H26.12.8
備北地域	15	15	11	11	1	1	—	—	—	—	1	1	H27.1.16
真庭地域	42	62	41	53	3	5	—	—	2	4	1	1	H26.12.16
美作地域	341	341	270	270	21	21	2	2	6	6	13	13	H27.1.13

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2) 臨時休業施設数の内訳

第3週：138 施設

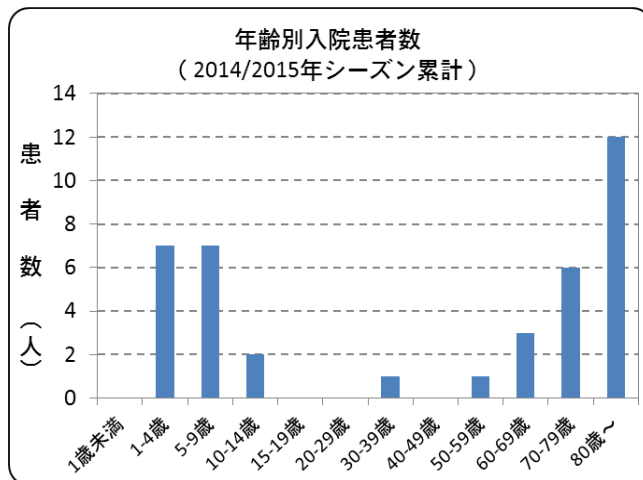
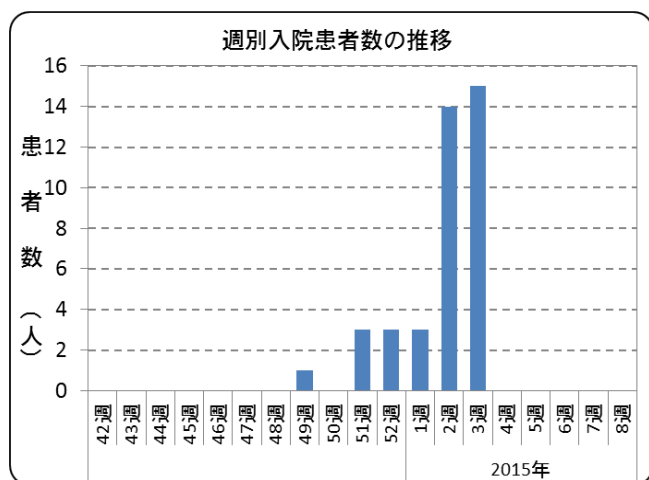
累計：178 施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	17	20	98	126	15	18	8	14	—	—

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、15 名（1～4 歳 1 名、5～9 歳 5 名、10～14 歳 1 名、50～59 歳 1 名、60～69 歳 1 名、70～79 歳 2 名、80 歳以上 4 名）の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。



【第 3 週 入院患者報告数】

年齢	1 歳未満	1～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	計 *
入院患者数		1	5	1					1	1	2	4	15
ICU 入室											2		2
人工呼吸器の利用													
頭部 CT 検査 (予定含)											1	1	2
頭部 MRI 検査 (予定含)				1									1
脳波検査 (予定含)													
いずれにも該当せず		1	5						1	1		3	11

* 重複あり

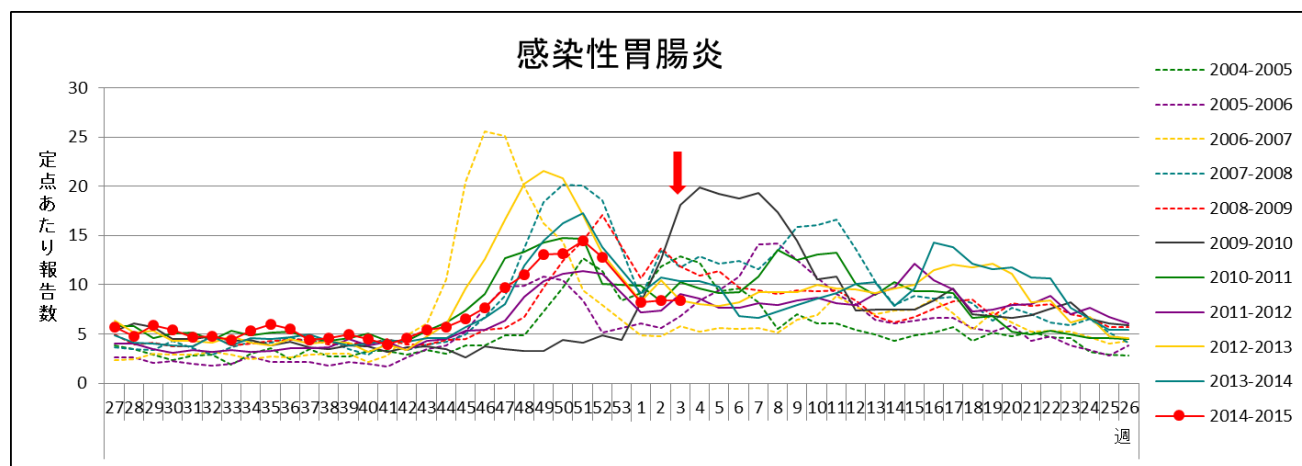
【2014 年 9 月 1 日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1 歳未満	1～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	計 *
入院患者数		7	7	2			1		1	3	6	12	39
ICU 入室											3		3
人工呼吸器の利用													
頭部 CT 検査 (予定含)		1								1	3	1	6
頭部 MRI 検査 (予定含)		1		1							2		4
脳波検査 (予定含)		1									1		2
いずれにも該当せず		6	7	1			1		1	2	1	11	30

* 重複あり

感染性胃腸炎週報 2015 年 第3週 (1月12日～1月18日)

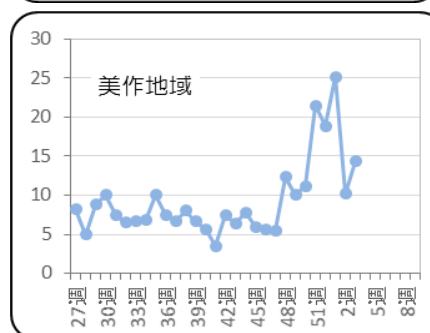
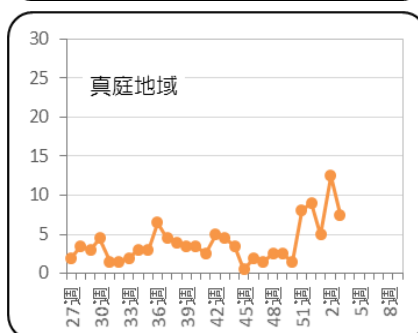
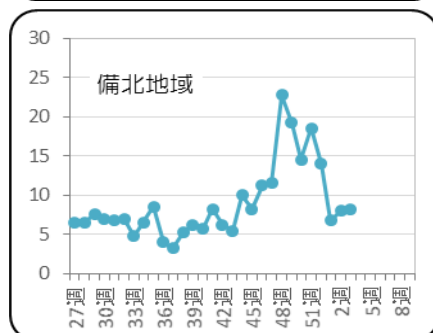
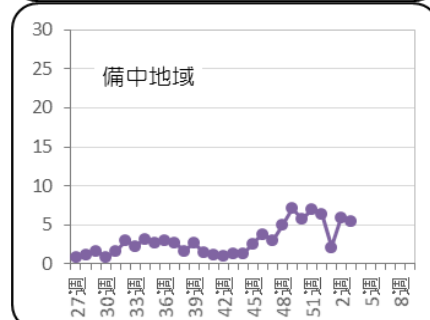
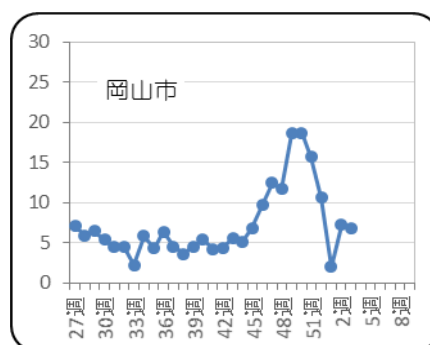
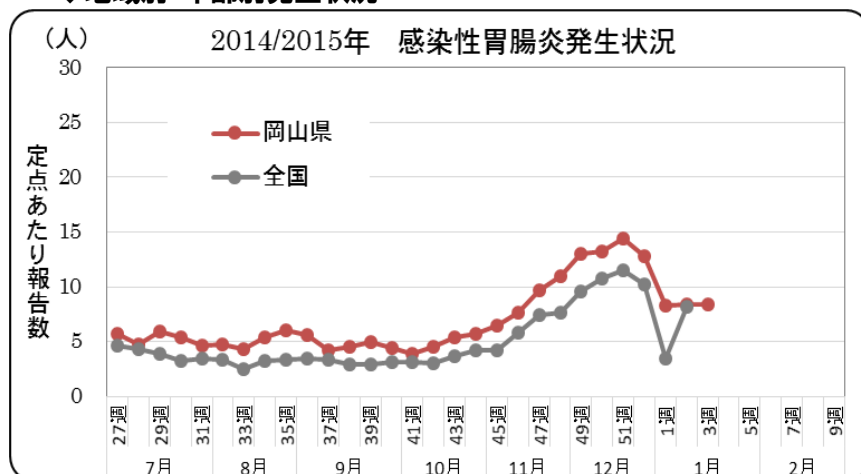
○感染性胃腸炎は、県全体で 453 名（定点あたり 8.39 → 8.39 人）の報告がありました（54 定点医療機関報告）。



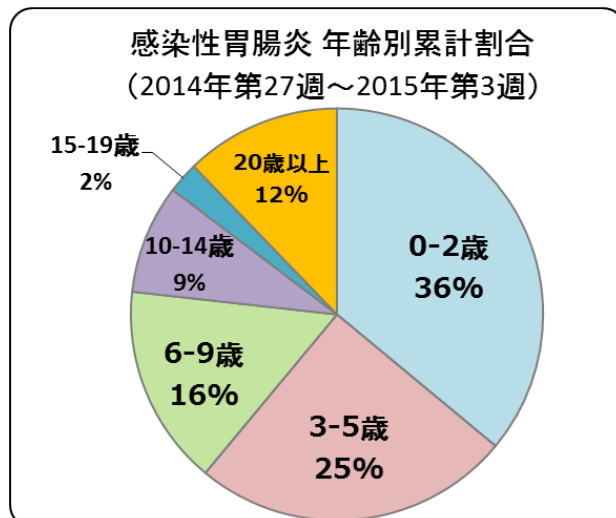
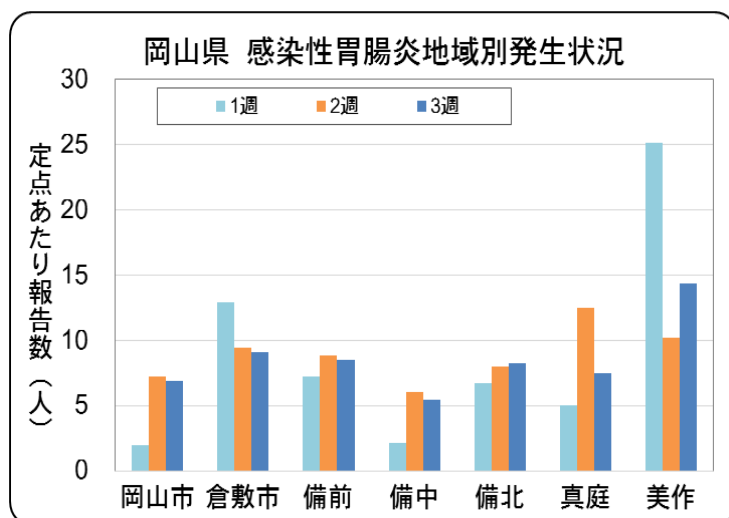
※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27 週～翌年 26 週でグラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、県全体で 453 名（定点あたり 8.39 → 8.39 人）の報告があり、前週と同数でした。12 月をピークに報告数は減少し、第 1 週（12/29～1/4）から横ばい傾向にあります。依然として多くの患者が報告されています。全国では、冬の感染性胃腸炎の原因であるノロウイルスの集団感染も発生しています。学校や福祉施設、病院などでは、手洗いの徹底や下痢便・嘔吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。

◆地域別・年齢別発生状況



地域別では、美作地域で前週より患者数が増加し、美作地域（14.33 人）、倉敷市（9.09 人）、備前地域（8.50 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。年齢別累計では、5 歳以下の乳幼児が全体の 61% を占めています。



ノロウイルスに感染しないためには

1. 最も大切なことは手を洗うことです。

排便後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

2. 処理をする人自身が感染しないように気をつけましょう。

嘔吐物や下痢便にはウイルスが大量に含まれています。処理するときは、使い捨ての上着や、マスク、手袋を着用し、下痢便、嘔吐物をペーパータオル等で静かに拭き取った後は、**次亜塩素酸ナトリウム（家庭用塩素系漂白剤でも代用可）**で浸すように床を拭き取り、その後水拭きをします。また、処理をした後はしっかりと流水で手を洗いましょう。ノロウイルスにアルコールは消毒効果が低いとされています。

3. 嘔吐物や下痢便で汚れた衣類は、**85℃で1分以上の熱水洗濯か次亜塩素酸ナトリウム（家庭用塩素系漂白剤でも代用可）**の消毒が有効です。

嘔吐物や下痢便で汚れた衣類は、付着した汚物を除去し、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗った後、熱水洗濯か次亜塩素酸ナトリウムで消毒をしましょう。

※塩素系漂白剤の使用に当たっては「使用上の注意」を確認しましょう。

4. 食品は、中心部まで十分に加熱しましょう。（中心部を 85～90℃で 90 秒間以上）

[ノロウイルスに関する Q&A（厚生労働省ホームページ）](#)

[食中毒（ノロウイルス）注意報を発令中です（岡山県ホームページ生活衛生課）](#)

保健所別報告患者数 2015年 3週 (2015/01/12～2015/01/18)

2015年1月21日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	4974	59.21	1233	56.05	1611	100.69	686	45.73	618	51.50	201	33.50	159	53.00	466	46.60
RSウイルス感染症	21	0.39	4	0.29	7	0.64	—	—	4	0.57	1	0.25	—	—	5	0.83
咽頭結膜熱	5	0.09	—	—	3	0.27	—	—	—	—	—	—	—	—	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	62	1.15	29	2.07	24	2.18	2	0.20	2	0.29	3	0.75	—	—	2	0.33
感染性胃腸炎	453	8.39	96	6.86	100	9.09	85	8.50	38	5.43	33	8.25	15	7.50	86	14.33
水痘	27	0.50	9	0.64	4	0.36	6	0.60	1	0.14	4	1.00	2	1.00	1	0.17
手足口病	17	0.31	11	0.79	1	0.09	2	0.20	1	0.14	—	—	—	—	2	0.33
伝染性紅斑	7	0.13	4	0.29	3	0.27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
突発性発疹	15	0.28	10	0.71	1	0.09	3	0.30	—	—	—	—	—	—	1	0.17
百日咳	1	0.02	—	—	—	—	1	0.10	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	10	0.19	2	0.14	—	—	2	0.20	1	0.14	—	—	1	0.50	4	0.67
急性出血性結膜炎	1	0.08	1	0.20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	1	0.08	1	0.20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(— : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	4974	59.21	1233	56.05	1611	100.69	686	45.73	618	51.50	201	33.50	159	53.00	466	46.60
咽頭結膜熱	5	0.09	—	—	3	0.27	—	—	—	—	—	—	—	—	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	62	1.15	29	2.07	24	2.18	2	0.20	2	0.29	3	0.75	—	—	2	0.33
感染性胃腸炎	453	8.39	96	6.86	100	9.09	85	8.50	38	5.43	33	8.25	15	7.50	86	14.33
水痘	27	0.50	9	0.64	4	0.36	6	0.60	1	0.14	4	1.00	2	1.00	1	0.17
手足口病	17	0.31	11	0.79	1	0.09	2	0.20	1	0.14	—	—	—	—	2	0.33
伝染性紅斑	7	0.13	4	0.29	3	0.27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
百日咳	1	0.02	—	—	—	—	1	0.10	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	10	0.19	2	0.14	—	—	2	0.20	1	0.14	—	—	1	0.50	4	0.67
急性出血性結膜炎	1	0.08	1	0.20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	1	0.08	1	0.20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

濃黄セルに赤字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3

薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2

を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2015年 第3週 2015/01/12～2015/01/18)

疾病名	合計 -6ヶ月-12ヶ月			1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	4974	17	50	162	156	210	265	281	294	264	238	185	851	238	337	388	343	257	182	133	123

疾病名	合計 -6ヶ月-12ヶ月			1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	21	6	8	2	1	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	5	-	-	1	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	62	-	-	2	1	10	8	10	8	7	3	4	7	-	2
感染性胃腸炎	453	6	29	63	50	35	23	25	24	21	10	9	59	13	86
水痘	27	2	2	5	3	6	-	2	3	2	-	1	1	-	-
手足口病	17	-	-	7	5	1	-	2	2	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	7	-	-	-	1	-	-	2	3	-	1	-	-	-	-
突発性発疹	15	-	8	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	10	-	-	-	-	1	-	4	-	1	2	1	1	-	-

疾病名	合計 -6ヶ月-12ヶ月			1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
流行性角結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

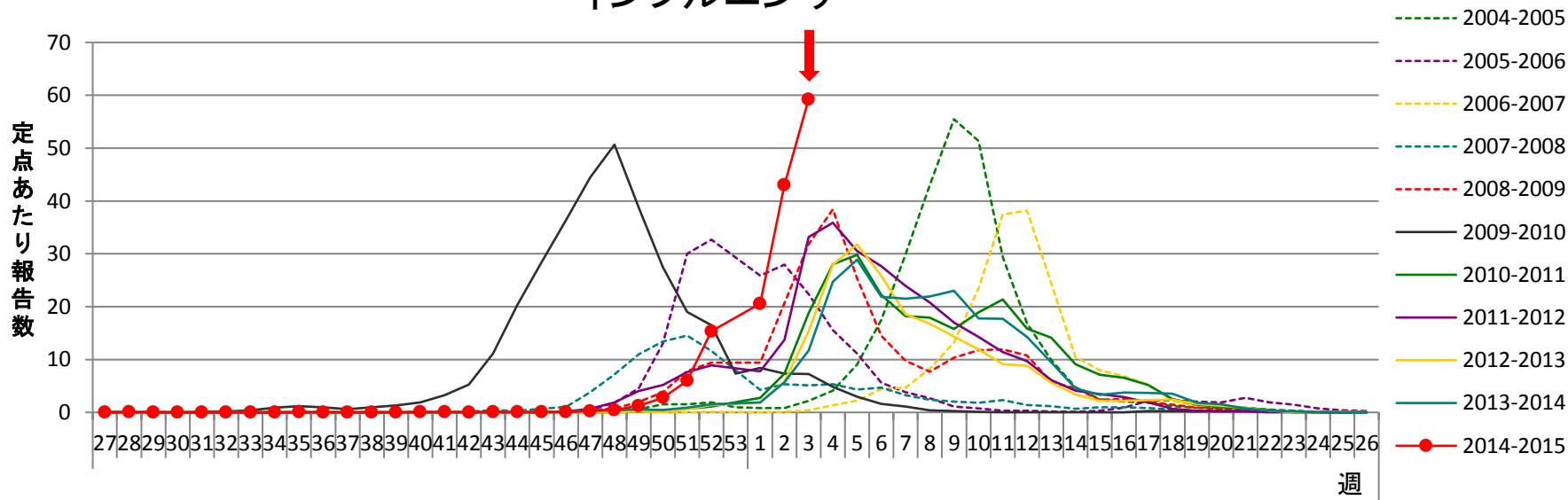
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

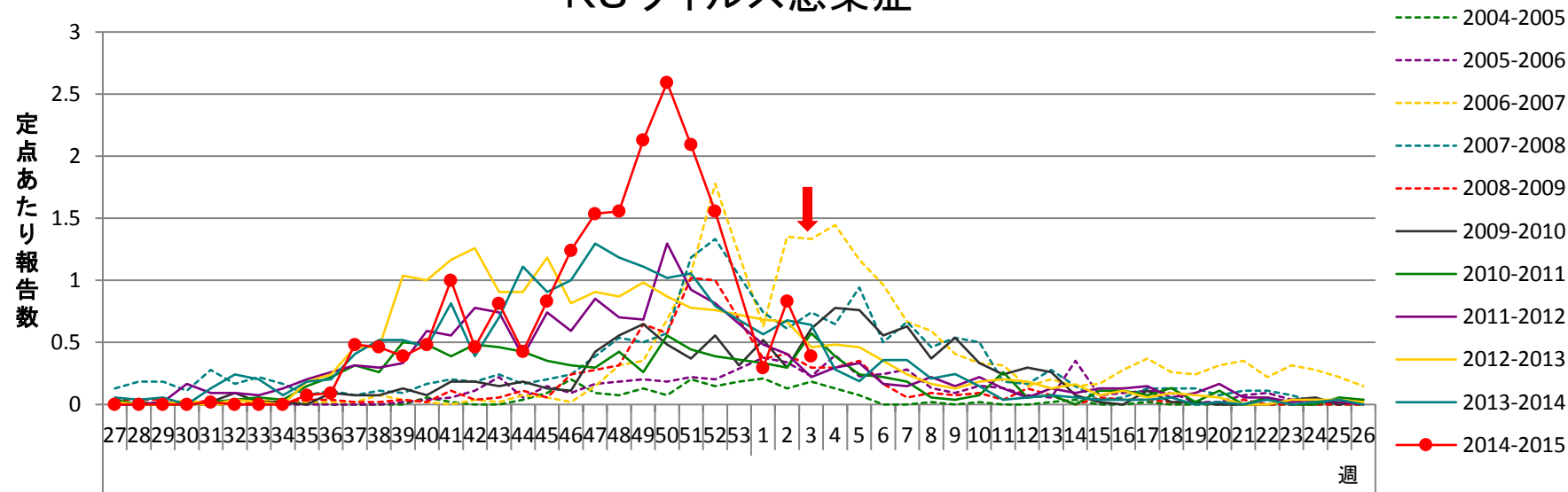
2015 年 3 週

分類	疾病名	2015			2014	2015	2014	2015	2014
		今週	累計	昨年		今週	累計	今週	累計
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱 ペスト	-	-	-	痘そう マールブルグ病
	南米出血熱	-	-	-		-	-	-	
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-	
		-	-	-		-	-	-	
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核 鳥インフルエンザ(H5N1)	3	11	373	ジフテリア
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-		-	-	-	
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢 パラチフス	-	-	-	腸管出血性大腸菌感染症
	腸チフス	-	-	-		-	-	-	
四類	E型肝炎	-	-	2	ウエストナイル熱 黄熱 回帰熱 狂犬病 重症熱性血小板減少症候群 ダニ媒介脳炎 つつが虫病 鳥インフルエンザ 日本紅斑熱 鼻疽 ヘンドラウイルス感染症 マラリア リッサウイルス感染症 レジオネラ症	-	-	-	A型肝炎 オウム病 キャサヌル森林病 コクシジオイデス症 腎症候性出血熱 炭疽 デング熱 ニパウイルス感染症 ハンタウイルス肺症候群 ブルセラ症 発しんチフス 野兎病 リフトバレー熱 レプトスピラ症
	エキノкокクス症	-	-	-		-	-	-	
	オムスク出血熱	-	-	-		-	-	-	
	Q熱	-	-	-		-	-	-	
	サル痘	-	-	-		-	-	2	
	西部ウマ脳炎	-	-	-		-	-	-	
	チクングニア熱	-	-	-		-	-	2	
	東部ウマ脳炎	-	-	-		-	-	-	
	日本脳炎	-	-	-		-	-	4	
	Bウイルス病	-	-	-		-	-	-	
	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-		-	-	-	
	ポツリヌス症	-	-	-		-	-	-	
	ライム病	-	-	-		-	-	-	
	類鼻疽	-	-	-		-	2	31	
	ロッキー山紅斑熱	-	-	-		-	-	-	
五類	アメーバ赤痢	-	-	12	ウイルス性肝炎*3 クリプトスポリジウム症 後天性免疫不全症候群 侵襲性髄膜炎菌感染症 先天性風しん症候群 破傷風 風しん	1	1	7	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染 クロイツフェルト・ヤコブ病 ジアルジア症 侵襲性肺炎球菌感染症 梅毒 バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染 麻しん
	急性脳炎*4	-	-	9		-	-	-	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	-	3		-	-	20	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	-	2		-	-	-	
	水痘(入院例に限る。)	-	-	6		-	-	-	
	播種性クリプトкокクス症	-	-	-		-	-	1	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	2		-	-	2	
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-		-	-	-	
		-	-	-		-	-	-	

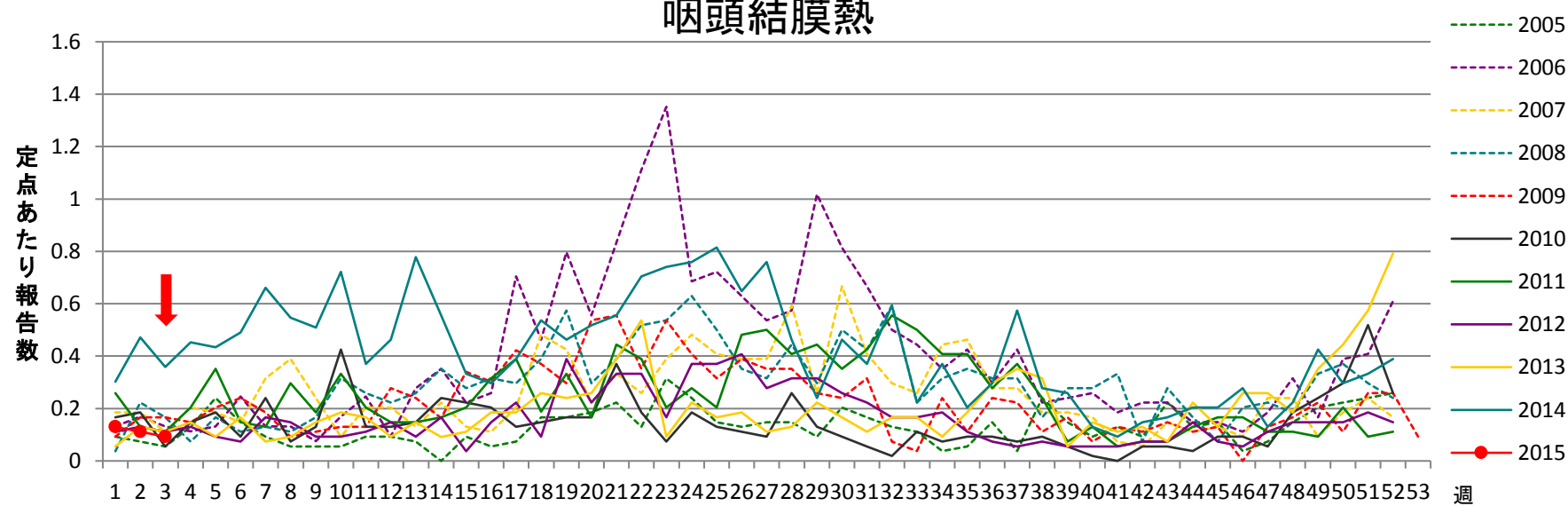
インフルエンザ



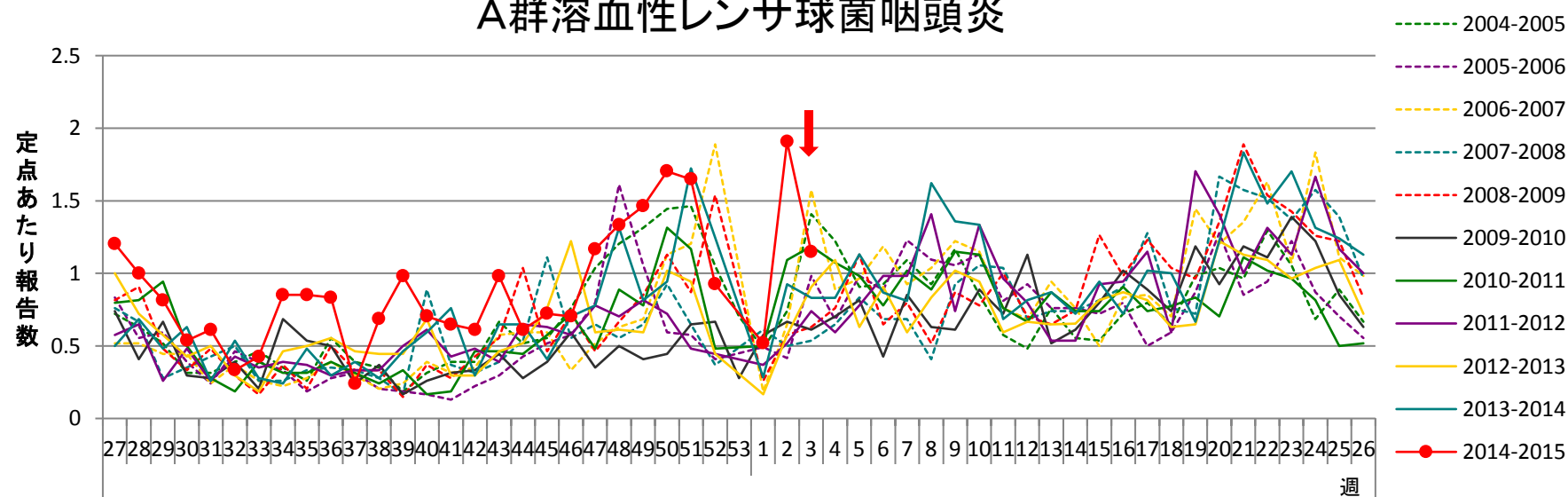
RSウイルス感染症



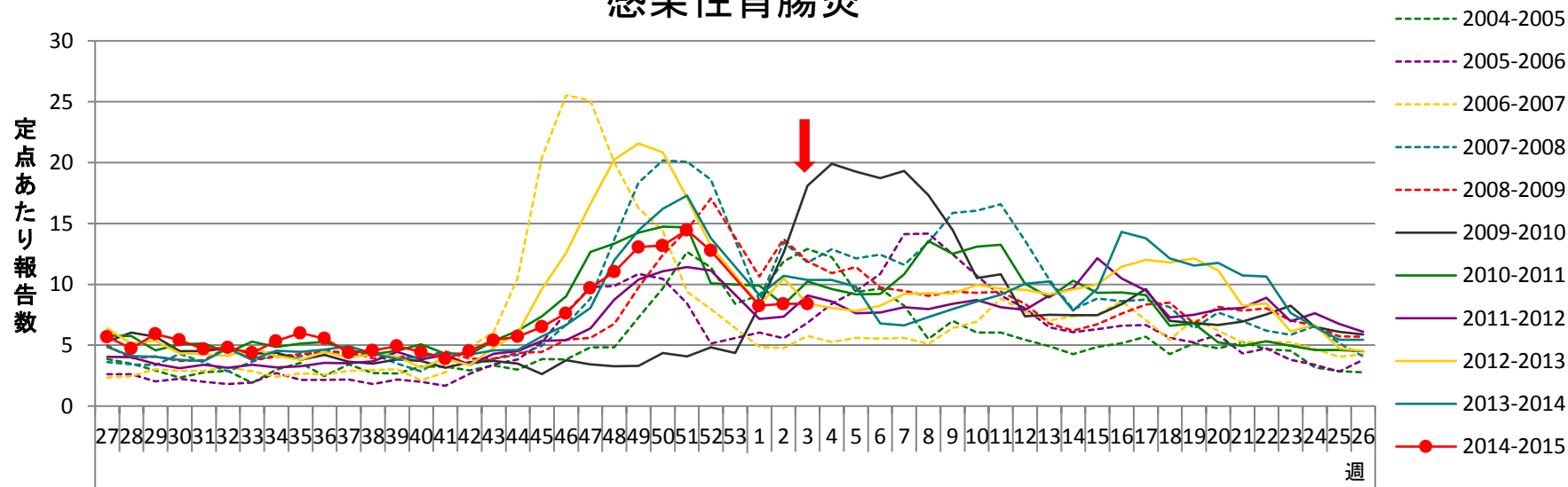
咽頭結膜熱



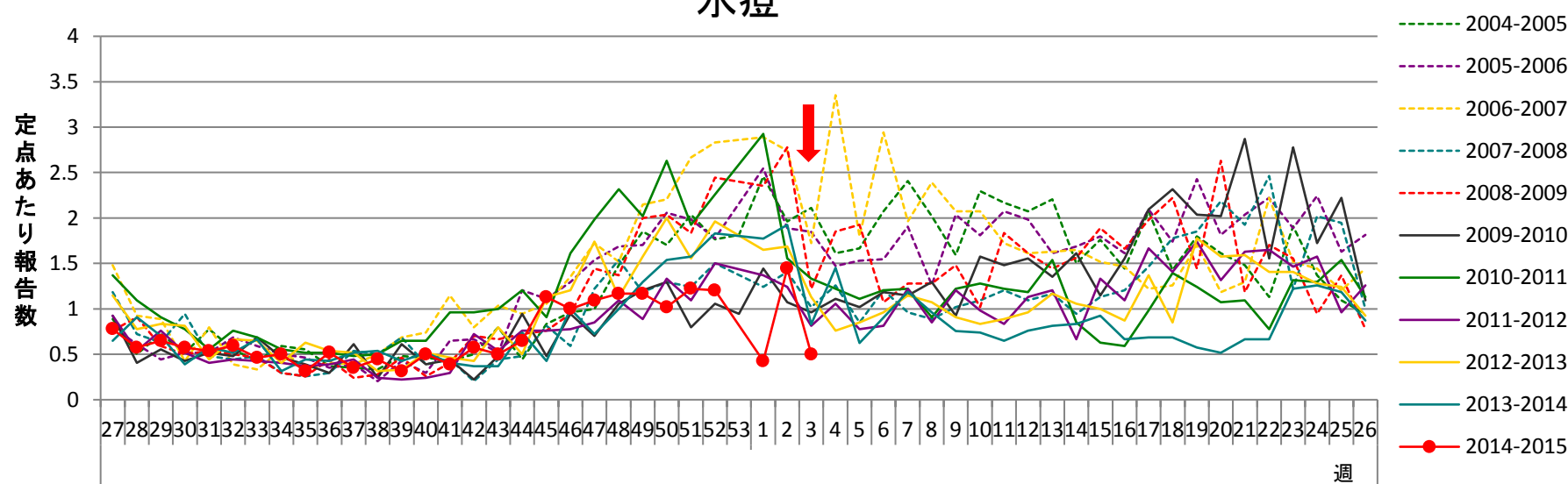
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



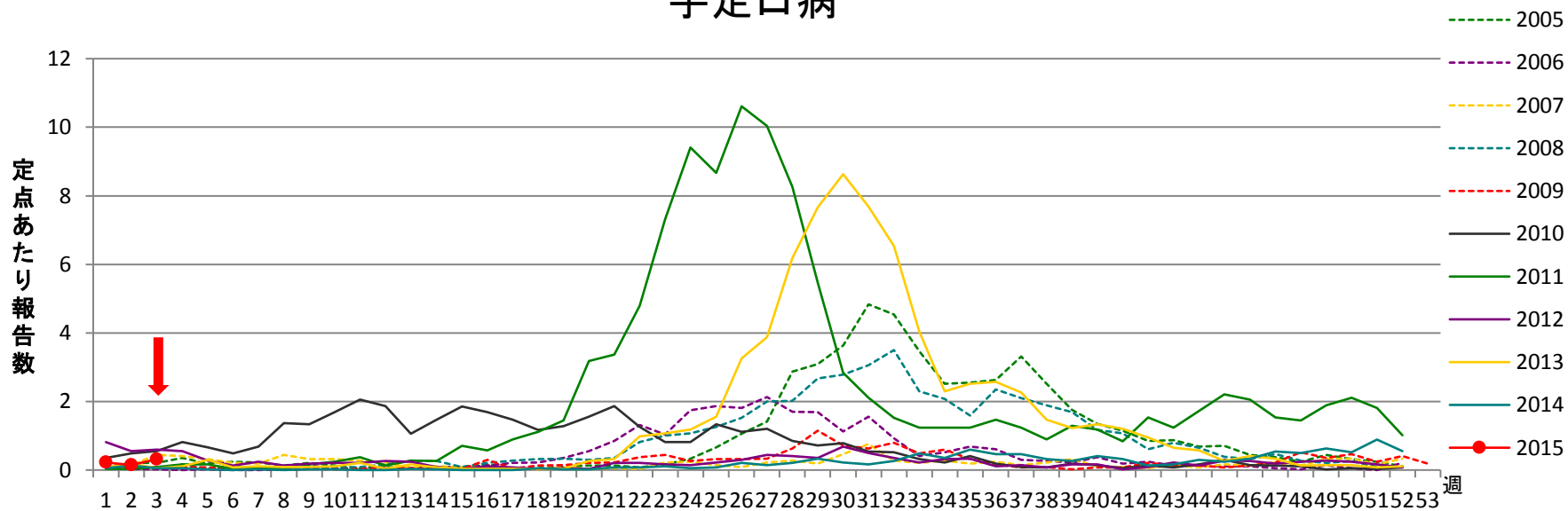
感染性胃腸炎



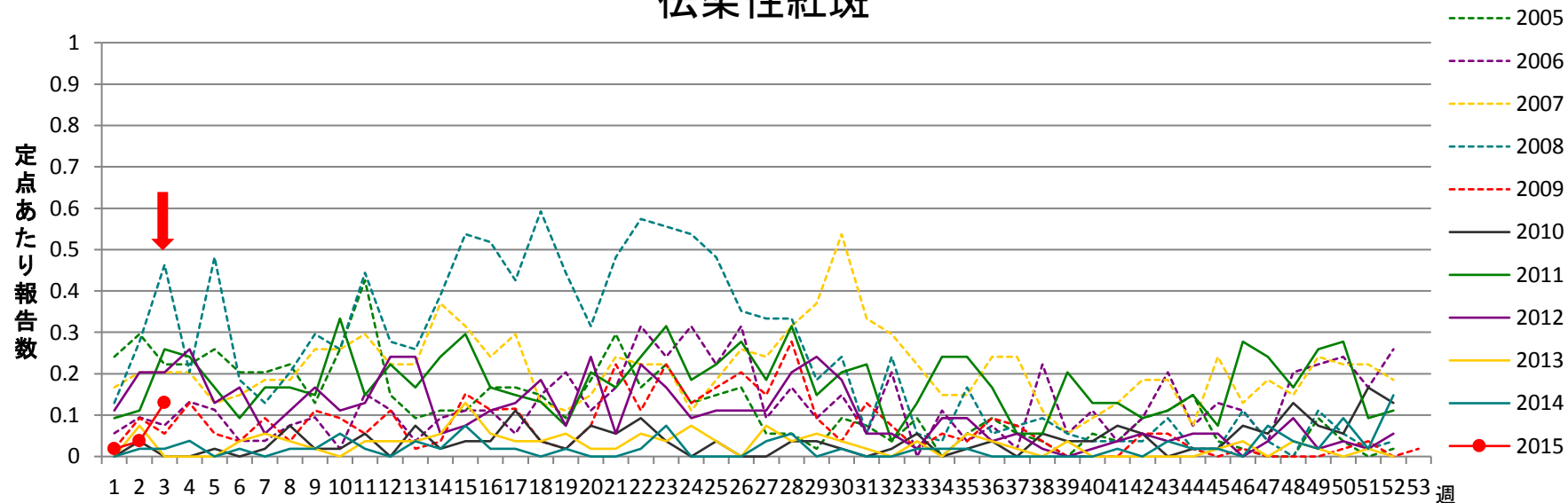
水痘



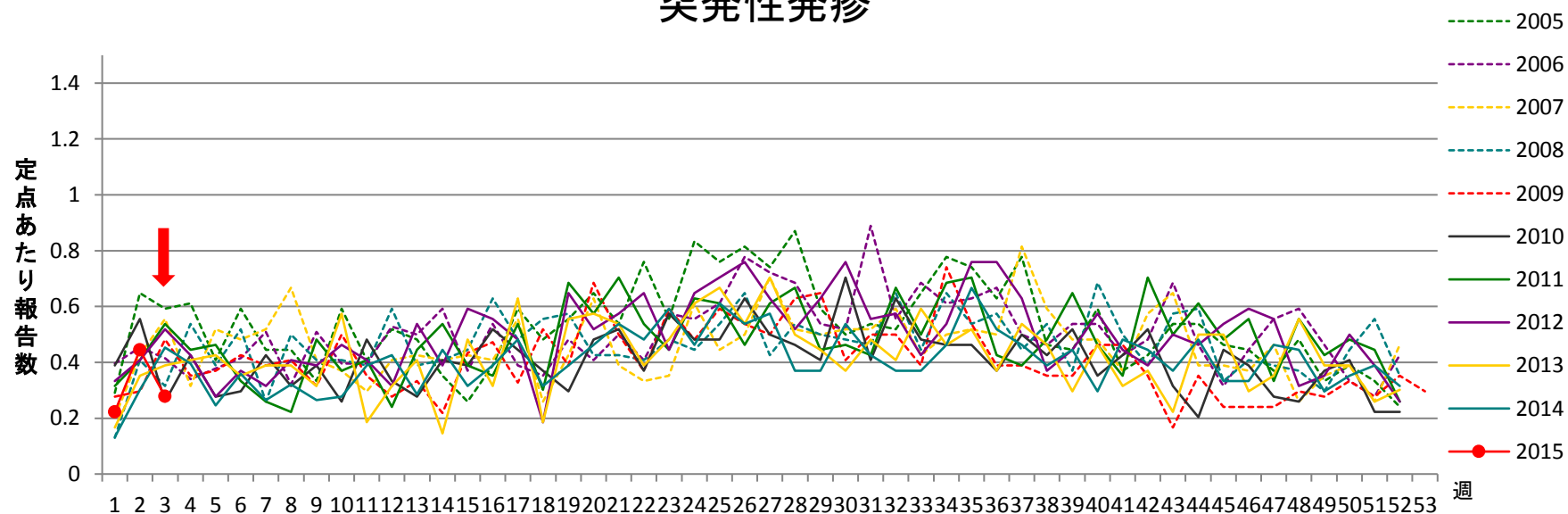
手足口病



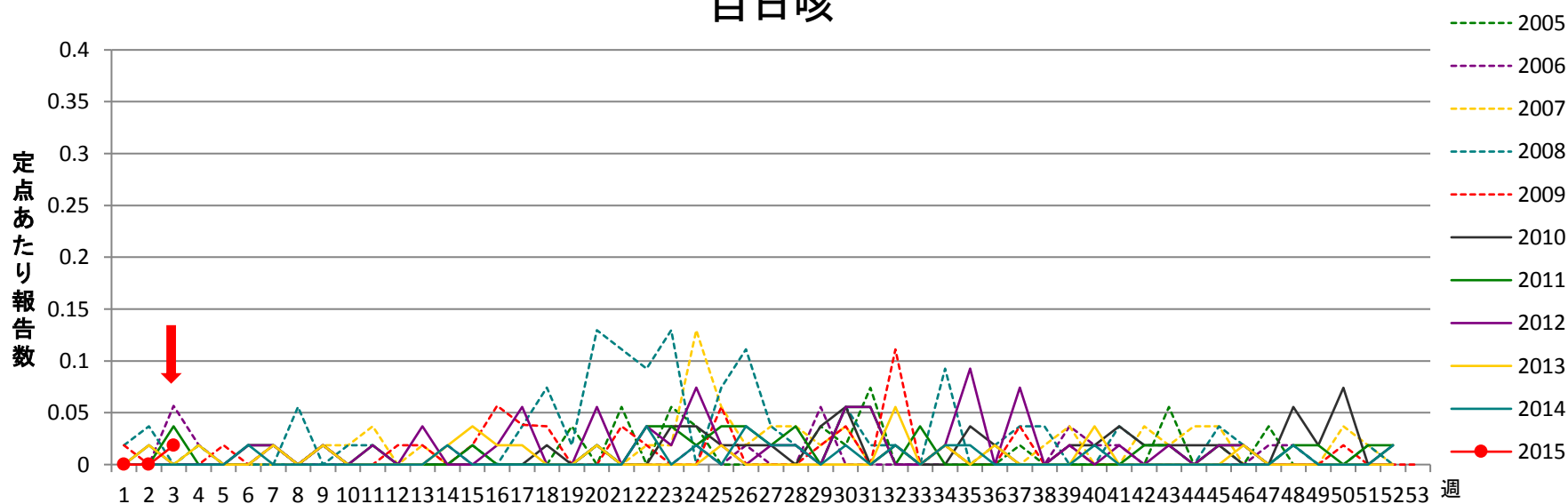
伝染性紅斑



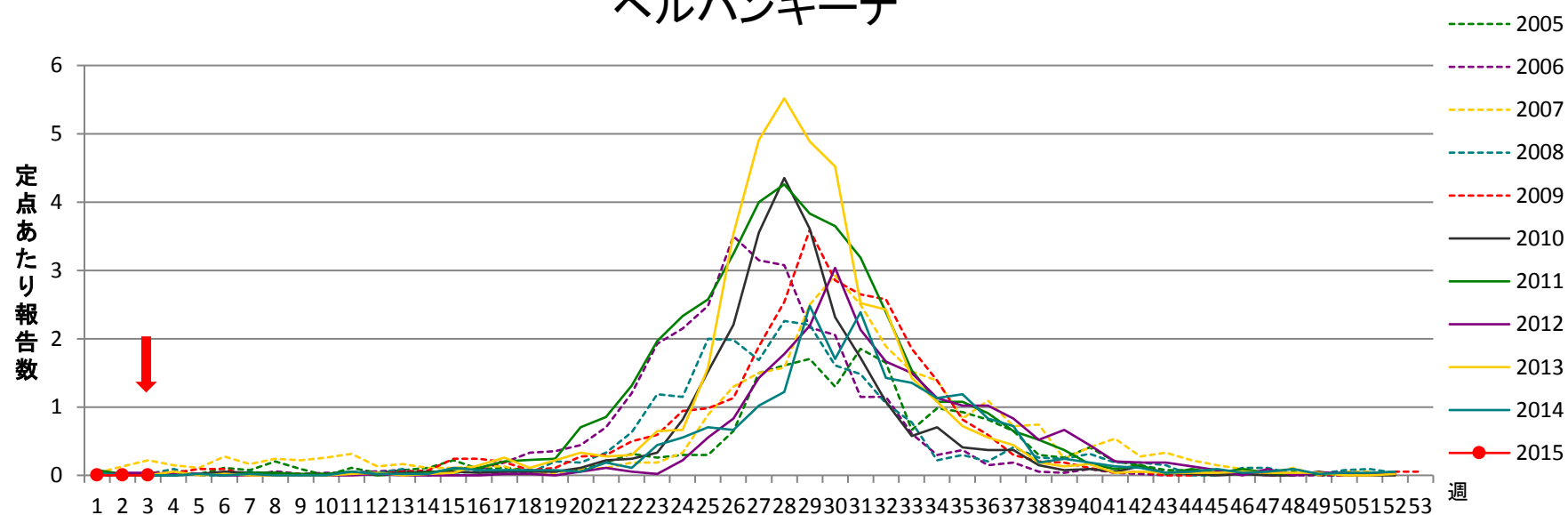
突発性発疹



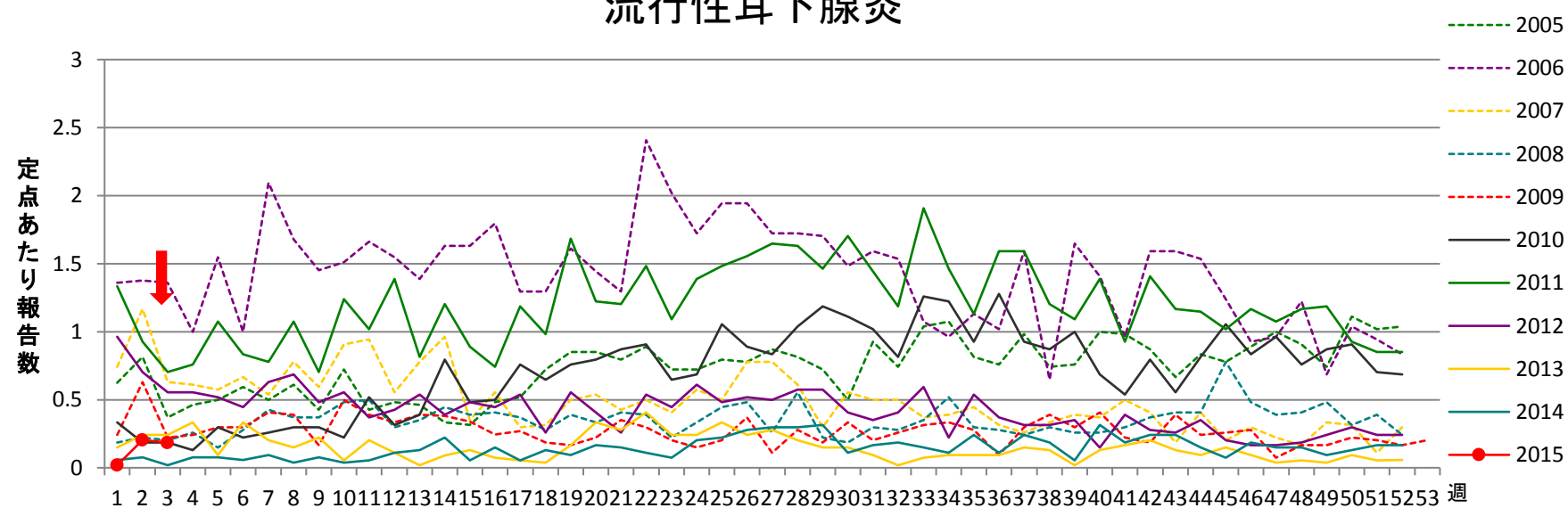
百日咳



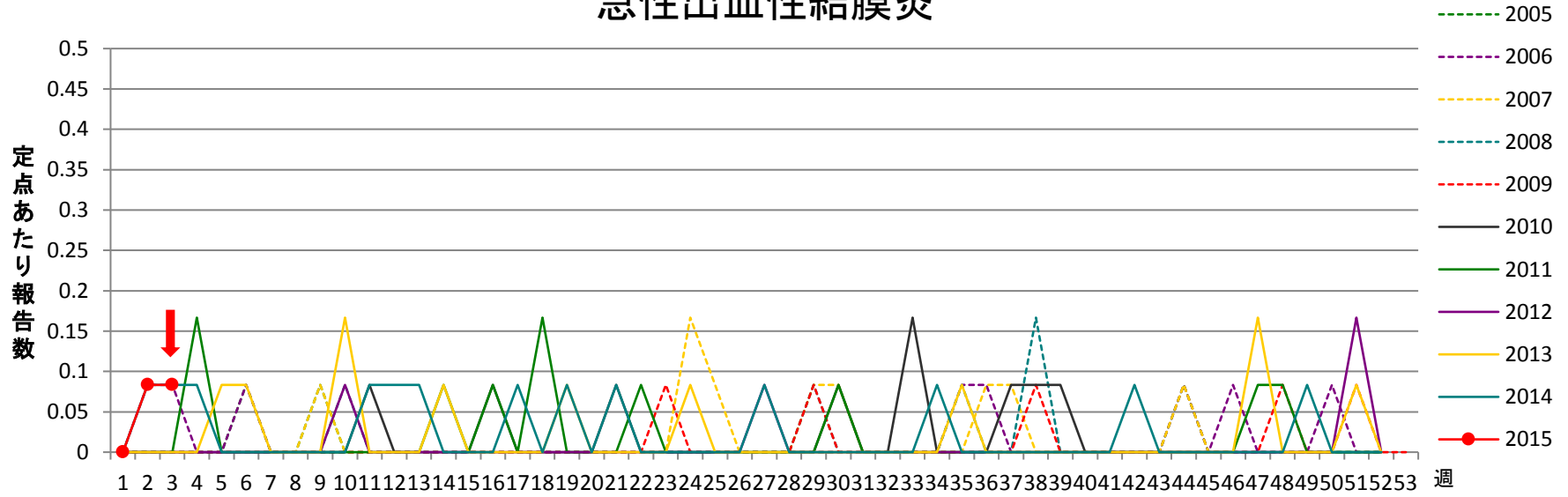
ヘルパンギーナ



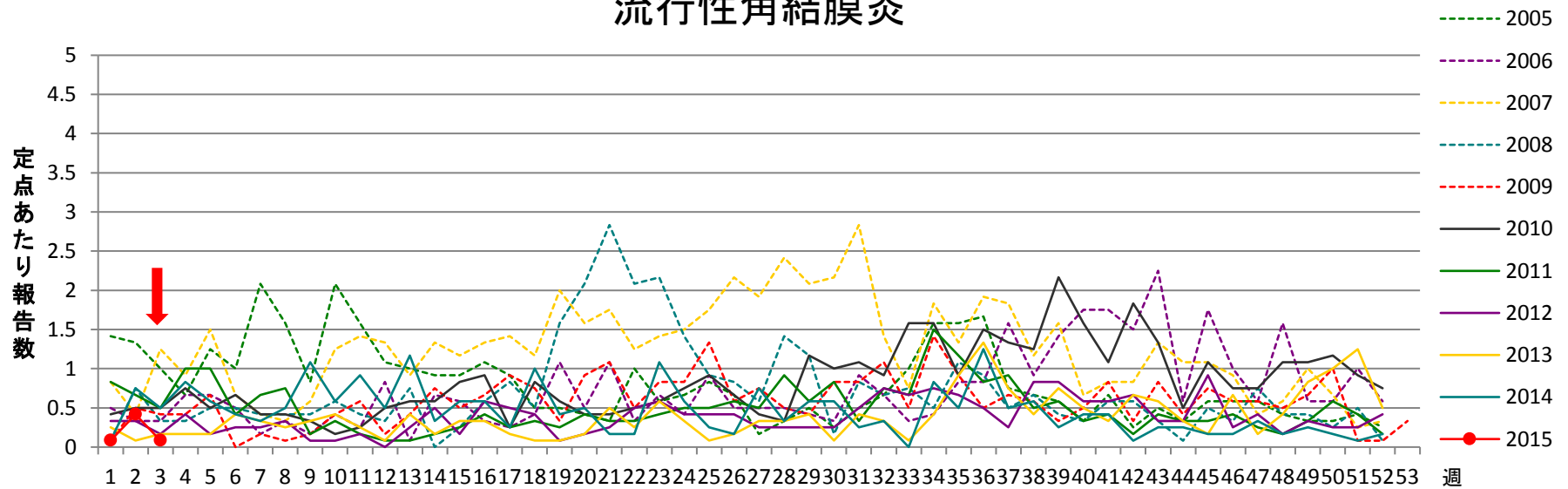
流行性耳下腺炎



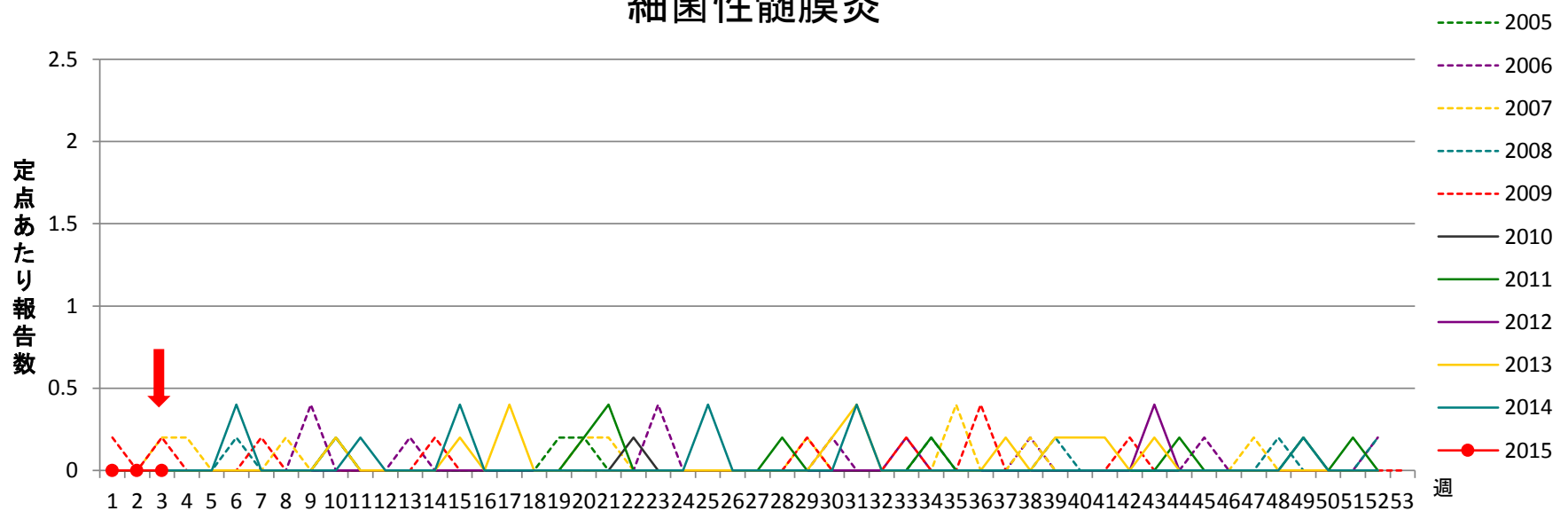
急性出血性結膜炎



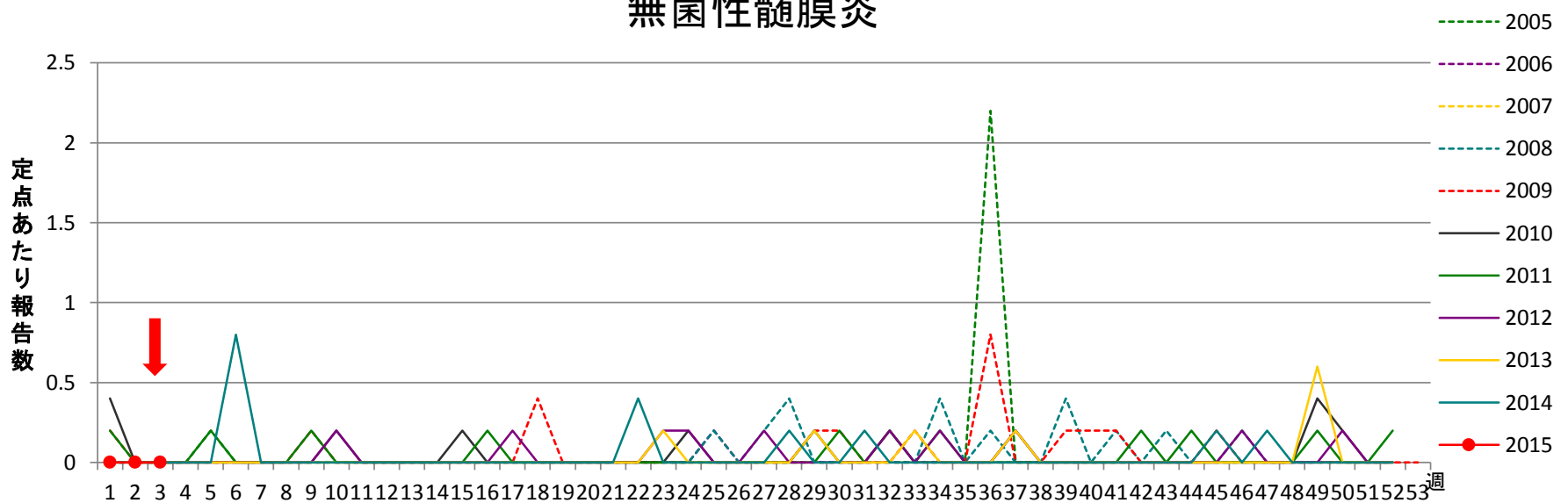
流行性角結膜炎



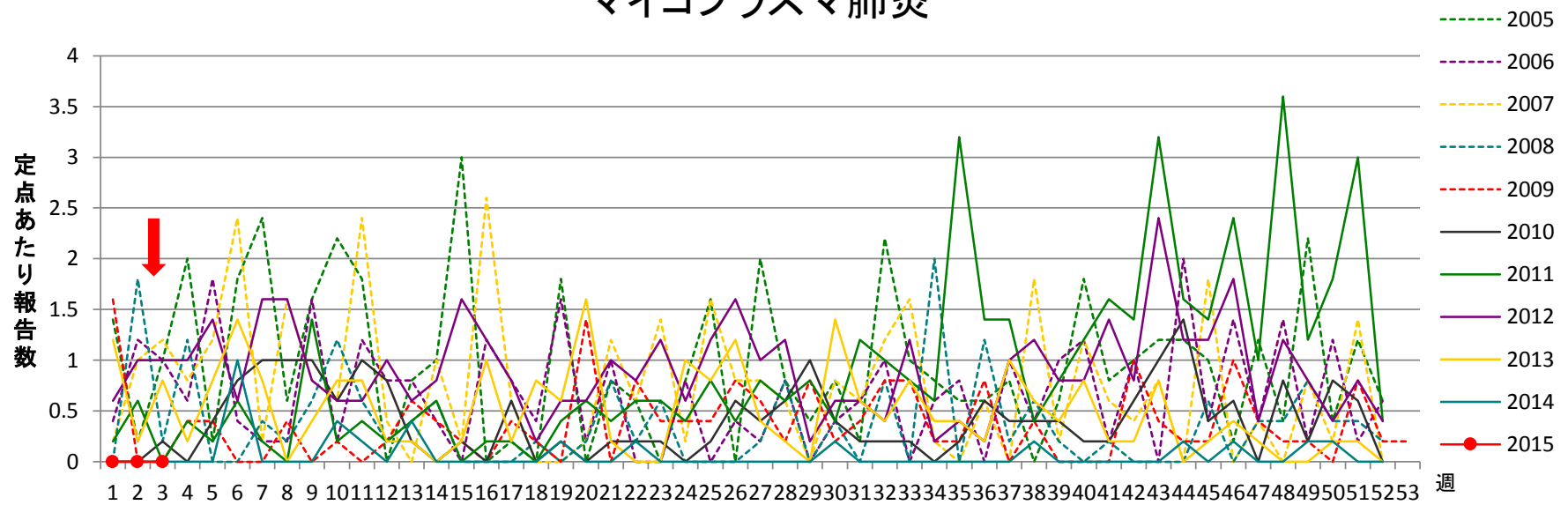
細菌性髄膜炎



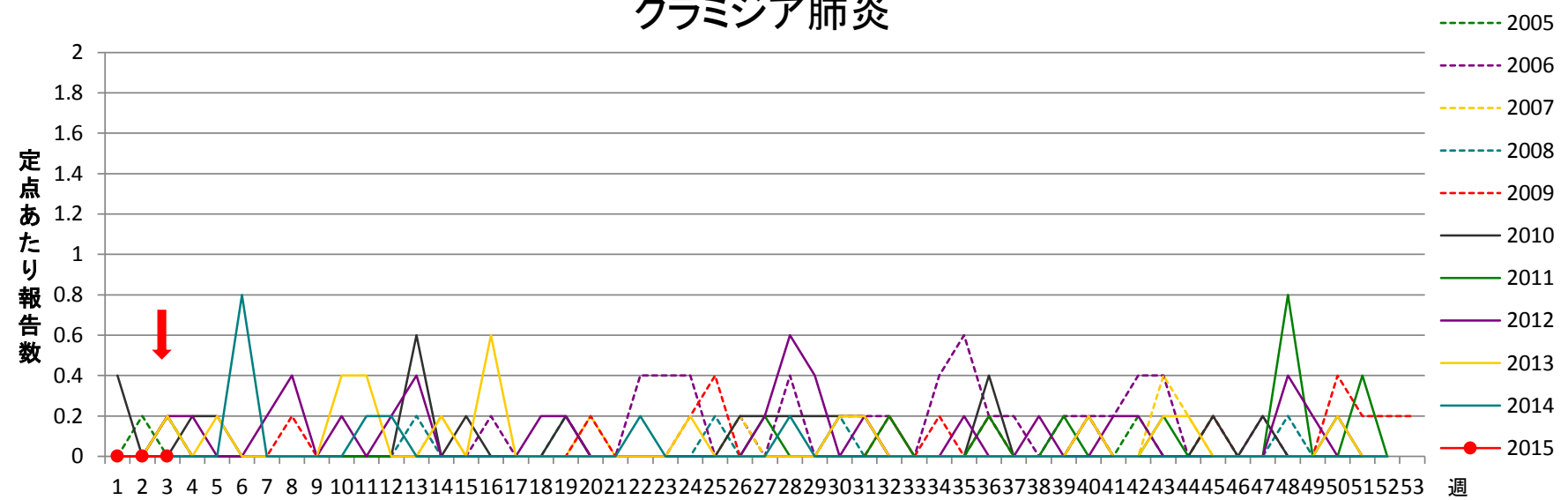
無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

